

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ 40 号



2018年4月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<http://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



勝負

ヲ読ム



「サラの柔らかな香車」

はしもと ちょうどう
橋本 長道 作 集英社文庫 2014年



プロ棋士になる夢に破れ自堕落に生きる瀬尾健司は、学校にも行かず公園で遊ぶ金髪碧眼の十歳の少女サラと出会った。言葉でのコミュニケーションができないサラに将棋を教えるうちに、瀬尾は彼女の特異な才能に気付く。サラは将棋の駒をあらゆる感覚でとらえる共感覚の持ち主で、盤上に風景を見る力を持っていた。瀬尾と同期で女流棋士に転身したスター・塔子、塔子に憧れスーパー小学生として注目されるサラと同年の七海。彼女たちの運命は、サラと出会い、対局することで大きく変わっていく。

「植物はなぜ動かないのか」

いながき ひでひろ
稲垣 栄洋 作 ちくまプリマー新書 2016年



生物が将来どのように進化するかは自由だ。その自由の中で、植物は動かないという選択をした。逃げることができず動物に食べられてしまう植物は弱く不便そうに見える。しかし、実際はどうだろう？動物は、頭や心臓など体の部位の数が決まっています、無くなってしまうと生きていけない。一方、植物は葉や枝といった体の部位の数が決まってもいなければ、少しくらいなくなっても平気。これは、動物にはない強さだ。では強さとはいったい何か。本書を読みながら、一緒に考えてもらいたい。

「セキタン！」

すどう やすたか
須藤 靖貴 作 講談社 2011年



15歳の誕生日、突如現れたナゾの兄ちゃんに、「力士になったらどうかな」と声をかけられた大関 治。相撲は嫌いだったけれど、超能力を研究しているというナゾ兄に、自分のことを次々に言い当てられ、心が揺れ始める。力士になったら、家計を1人で支える母さんを助けてあげられるかもしれないし、ひそかに思いを寄せる同級生・三夏に認められるかもしれない。なれると思えば、なれる。ついに治は相撲部屋に入門することを決意。セキタン焚いて(=急いで)関取を目指す！

「くらべる東西」

おかべ たかし 作 東京書籍 2016年

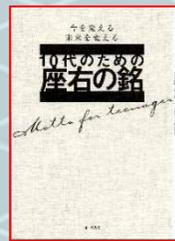


皆さんは、タマゴサンドに関東と関西の違いがあるのを知っていますか？ゆで卵を使うのが関東流なら、卵を焼いて使うのが関西流。銭湯を比べてみましょう。湯船が奥にある関東に対して、中央にあるのが関西。いなり寿司の形も、俵型が関東、三角形が関西です。この本では、34組の関東と関西の文化や風俗の違いを写真とともに比べ、解説しています。そのユニークさ、奥深さをじっくりとご覧ください。

東と西、あなたはどちらの文化が好きか、ジャッジを下しませんか？

「10代のための座右の銘」

めい
大泉書店 2015年



「恐ろしいと思うから失敗するのだ。自分を信じるのだ。」これは源義経の名言である。古今東西の偉人たちの名言とその解説をテーマ別に紹介する本書。義経のような「実行力のある人」といったテーマや自分の理想に近いものから読んでもよいし、付属のチャート診断を使って自分に合ったものを見つけてからでもよい。発明家や芸術家、スポーツ選手まで多くの名言が収録されているので、自分にぴったりの座右の銘を見つけてみよう！それが受験や未来の試練でああなたの力になってくれる！

「なぜ、日本人シェフは世界で勝負できたのか」

ほんだ なおゆき
本田 直之 作 ダイヤモンド社 2014年

現在、日本人シェフが海外のレストラン業界で高く評価されていることを知っていますか？この本は、海外で働く彼らの成功談を数多く収録し、その秘訣を伝授してくれます。共通することの一つは、「日本人の強み」を活かすこと。例えば、「仕事に情熱を持ち、真面目に取り組むこと」です。日本人にとって当たり前なこの精神は、料理だけでなくスポーツやビジネスでも世界で通用すると考えられています。

あなたも日本人の強みを生かして、何かに挑戦してみませんか？



勉強・受験にまつわる「勝負」



『ドラゴン桜東大合格をつかむ言葉161』

三田 紀房 & モーニング編集部 編

講談社 2005年

『英語のバカヤロー!』

古屋 裕子 編

泰文堂 2009年

『生き抜くための数学入門』

新井 紀子 作

理論社 2007年



へそ出し金髪ギャルのさやかちゃんは、
偏差値30、学年ビリ。高2の夏に通い始
めた塾で坪田先生に出会い、慶應大学を目
指し始めた。

ゼッタイ無理に挑んだ女の子が、家族や
先生と奇跡を起こす実話。読んだら、あな
たのやる気にきっと火をつけるはず!



『学年ビリのギャルが1年で偏差値を
40上げて慶應大学に現役合格した話』

2013年 KADOKAWA

坪田 信貴 作



今回は「勝負」にまつわる本をご紹介します。
あなたの勝負のモチベーションアップに、ぜひ読んでみてください。

次回
予告

はぴ41号(7月発行)のテーマは

海



このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円(概算)です。